

2018年1月8～9日

改憲発言、政局、米軍ヘリ今度は読谷村に不時着、日韓・南北朝鮮関係

産経新聞 2018.1.8 23:37 更新

「栄辱によって初心に負かんや」… 安倍晋三首相、松陰の言葉引用して憲法改正に改めて意欲



支援者一人一人と談笑する安倍晋三首相

相＝山口県下関市

安倍晋三首相は8日、山口県下関市で開かれた地元後援会主催の「新春の集い」で挨拶し、「栄辱によって初心に負（そむ）かんや」という同県出身の幕末の思想家、吉田松陰の言葉を引用し、改めて憲法改正に意欲を示した。

首相は、松陰の言葉の意味について「栄誉や恥辱に負けて、初心を忘れてはならない」と説明した。また「政権を取って5年間に成し遂げたこともあるが、まだまだやるべきことはある」としてデフレ脱却、人づくり革命、生産性革命のほか憲法改正を挙げ、「今年1年、この言葉をしっかりと胸に刻み、たじろがず甘んじず、新たに志をたてた5年前と同じように真っすぐ前を向き、力強く一步一步前進していきたい」と訴えた。

これに先立ち、首相は同市の赤間神宮を昭恵夫人や母、洋子さんらとともに参拝した。6日からのお国入りを終え、8日午後に東京に戻った。

共産党 来夏参院選1人区、野党一本化に条件

毎日新聞 2018年1月8日 23時35分(最終更新 1月8日 23時35分)

共産党が来年夏の参院選での野党共闘に向け、強気の姿勢を見せている。昨年10月の衆院選では67選挙区で独自候補を取り下げ、野党候補を一本化した。共産の議席は改選前の21から12にほぼ半減。こうした結果を踏まえ、参院選では改選数1の「1人区」での野党候補一本化で「相互推薦・相互支援」を条件とし、一方的な取り下げには応じない姿勢を鮮明にしている。

志位和夫委員長は4日の党旗開きで、立憲民主、民進、自由、社民の野党4党に対し、「速やかな政策対話と候補者調整の協議を呼びかける」として1人区の候補一本化を訴えた。全選挙区に候補者を擁立したうえで、1人区では4

党との相互推薦・支援を条件に一本化交渉に入る考えだ。

共産は衆院選での独自候補取り下げについて「安倍政権の暴走を止め、民主主義を取り戻す大局に立った正しい対応だった」（志位氏）と総括している。ただ、議席減の要因として「候補者の取り下げは、候補者のいない選挙区で比例票を伸ばす活動に影響した」（党幹部）と分析している。

一方、野党第1党の立憲の枝野幸男代表は候補一本化の必要性は認めつつ、「それぞれの党の立場と事情がある」と微妙な距離感を保っている。民進などを支持してきた連合が共産との全面的な共闘に否定的なことも背景にある。【光田宗義】

河野外相 「日本外交は危機に直面」中国念頭に懸念

毎日新聞 2018年1月8日 19時09分(最終更新 1月8日 19時25分)



河野太郎外相＝川田雅浩撮影

河野太郎外相は8日、中国の国際的な影響力拡大を念頭に、「日本の外交は危機に直面している。今までと同じことをやっていたのでは国益を守ることはできない」と述べ、懸念を示した。神奈川県茅ヶ崎市であった支持者向けの会合で語った。

河野氏は「中東やアフリカに行くと、中国が建てたビル、国会議事堂、橋、道路。どこへ行っても建設現場には中国語の看板が掛かっている」と指摘。

「かつて日本のODA（政府開発援助）拠出が世界一という時は、日本の外相が来なくても通った時代があった。しかし、今、中国は世界中のほとんどの所で、日本のODAと民間企業の投資を足した何倍もの金額を落としている」と訴えた。【加藤明子】

稲嶺名護市長、移設阻止へ権限活用

沖縄県名護市の稲嶺進市長は8日、市内で記者会見し、3選を目指して出馬する市長選（2月4日投開票）の公約を発表した。米軍普天間飛行場（宜野湾市）の名護市辺野古への移設を阻止するため、埋め立て予定地に注ぐ美謝川の水路変更などに関する市長権限を活用していく方針を掲

げた。

市長選は自民、公明両党の県組織が推薦する渡具知武豊前市議との一騎打ちとなる見通し。渡具知氏が辺野古移設への賛否を明確にしていないことについて、稲嶺氏は「大事なことを覆い隠し、争点外しに専念している。市民を愚弄（ぐろう）するものだ」と批判した。（時事通信 2018/01/08-21:33）

また米軍ヘリ不時着＝普天間飛行場所属－リゾートホテル近く－沖縄・読谷



廃棄物処理場に不時着した米海兵隊のAH1 攻撃ヘリコプター＝8日午後、沖縄県読谷村（住民提供）

8日午後4時45分ごろ、沖縄県読谷村儀間の廃棄物処分場に米軍ヘリコプターが不時着した。県警などによると、乗員2人と住民に負傷者はいない。ヘリは普天間飛行場（同県宜野湾市）所属の海兵隊のAH1 攻撃ヘリ。現場近くにはリゾートホテルがある。

沖縄県では6日に普天間配備のUH1ヘリがうるま市の伊計島の砂浜に不時着し、8日に撤去作業が終わったばかりだった。頻発する米軍機のトラブルに県民の不安と反発が一段と高まるのは必至だ。

読谷村の石嶺伝実村長は現場を視察した後、記者団に「極めて異常な状況が沖縄で起こっている」と指摘。「ここは日本国かという感じだ。米軍の占領地ではない」と訴え、原因究明までの全航空機の運用停止を求めた。

小野寺五典防衛相は8日、記者団に「(事故が)多過ぎる。地元の皆さんの心配は当然と思う」と強調。防衛省側が在日米軍のマルチネス司令官らに対して詳細な情報提供を求め、実効性のある再発防止策を講じるよう申し入れたことを明らかにした。

県警によると、8日午後4時50分ごろに、「米軍ヘリが不時着した。エンジンローターがまだ回った状態」との通報があった。

政府関係者によると、機体の不具合を示す警告が点灯し、予防着陸したという。米軍が機体の詳しい状況を調べている。（時事通信 2018/01/08-23:27）

沖縄でまた米軍ヘリ不時着 読谷村のホテル近く 共同通信 2018/1/8 22:02



沖縄県読谷村に不時着した米軍の AH1 攻撃ヘリコプター＝8日午後6時6分（住民提供）

8日午後4時45分ごろ、沖縄県読谷村の廃棄物処分場に米軍普天間飛行場（同県宜野湾市）所属の AH1 攻撃ヘリコプターが不時着した。県警などによると2人が乗っていたが、けが人はいないもよう。警告灯が点滅したことが原因とみられる。県によると、読谷村のホテル日航アリビラ敷地から北東に約250メートル。米軍と県警が詳しい状況を調べている。

普天間飛行場所属の UH1 ヘリが8日午前、不時着した同県うるま市の伊計島海岸から CH53 大型輸送ヘリでつり上げて撤去されたばかりだった。

募る大事故への不安＝一歩間違えば大惨事＝頻発する米軍ヘリ不時着・沖縄

沖縄県でまた米軍ヘリコプターが、不時着した。米軍はトラブルが起きるたびに早々に「安全宣言」を出し、飛行を再開させているが、事故やトラブルは頻発している。昨年だけでも学校への部品の落下物や民家周辺で機体が大破炎上するなど事故が相次いだ。いずれも一歩間違えば大惨事に直結しかねない状況だった。今回は大型リゾートホテル近くの読谷村に不時着しており、大事故への不安は募るばかりだ。

現場から200メートル離れた畑にいて、不時着を通報した農業の男性（68）は、電柱にぶつかるほどの低さで空をかすめるヘリに気付いた。「落ちるんじゃないかと思った」と生々しく証言する。「法治国家なのかという感じだ」と憤った。

ニュースで不時着を知ったという読谷村役場の職員は8日、「本当に憤りを感じる。うるま市で別の不時着したヘリが撤去されたばかりなのに」と憤る。役場の別の職員が現場に向かったが、規制線が張られて近寄れないという。

今回、ヘリが不時着した廃棄物処分場の関係者は「近くにリゾートホテルがあるので、(ホテルの敷地で)大破していたら大変なことになっていた」と語気を強めた。リゾートホテルは1100人以上が宿泊できる大型ホテルで、観光客にも人気がある。（時事通信 2018/01/08-22:18）

「米軍に理解示した人も憤り」 沖縄、相次ぐヘリ不時着



沖縄県読谷村に不時着した米軍ヘリ（8日午後6時6分、上地薫さん提供）



またか。米軍機の事故やトラブルが相次いでいる沖縄で8日、今度は読谷村に米軍のヘリコプターが不時着した。うるま市の伊計島にヘリが不時着したのはわずか2日前。住民たちは「なぜこんなに」とあきれ、いらだっている。

米軍ヘリAH1が不時着した現場は、海沿いのリゾートホテル「ホテル日航アリビラ」から約400メートル離れた一般廃棄物最終処分場。周囲は畑だが、300メートルほどの所に住宅地がある。周辺には、県警と米軍による規制線が張られ、住民らが不安そうに見つめた。

近くの農業儀間恭昇（きょうのり）さん（68）は約200メートル離れた畑で農作業を終えた頃、普段と違うヘリの音に気づいて空を見上げた。「非常に低空で来た。電柱のすぐ上あたり。これは落ちるなと思った」。飛んでいた2機のうち1機は海へ真っすぐ飛んでいったが、1機は左に旋回し、高度を下げて見えなくなった。

現場に行くと、ローターが止まるところで、ヘリから降りた米軍の乗員が、機体側面のパネルを開けて点検していたという。「驚くというより、またかという感じ。怒りはあるけど、日本政府は何もやってくれないでしょ」と話した。

村職員の上井薫さん（33）は友人からの知らせを受けて現場に駆けつけた。「2日前にも（伊計島で）あったのに、また不時着。怒りというよりあきれた。いつ自分の家に落ちるかわからない。米軍は再発防止策を本気でやっているのか」と憤った。

県内では、2016年12月に名護市沿岸でオスプレイが不時着水して大破したほか、昨年10月には東村で大型ヘリCH53Eが不時着し炎上、さらに12月には、小学校の校庭にCH53Eが重さ約8キロの窓を落とすなど、米軍機によるトラブルが立て続けに起きている。しびれを切らした県は急きよ、富川盛武副知事の9日の上京を取りやめ、沖縄防衛局などに、県内にある全米軍機の飛行停止と緊急点検を改めて求める。県幹部は「米軍はいつも安全が確認できなければ飛行しないとやっているが、中身を伴っていない。米軍の機体整備に強い不信感を持っている」

と話す。

読谷村の石嶺伝実（でんじつ）村長も現場を視察後、「沖縄で異常事態が起きている。日米同盟が大事なら、負担は国民が等しく受けるべきだ」と強い口調で言った。

相次ぐトラブルについて、沖縄国際大の前泊博盛教授（安全保障論）は「県民の米軍に対する不信感は強まっており、米軍に理解を示していた人でも『ひどい』と言い出している。日本政府は主権国家としてしっかり抗議していくべきだ」と話した。

一方、この日午前には、うるま市に不時着していた多用途ヘリUH1を、大型ヘリでつり上げて撤去する作業が行われた。

人も機材も酷使されているのでは

軍事評論家・前田哲男さんの話 原因はそれぞれだろうが、ちょっと度が過ぎている。背景に、共通の人的要因があると考えなければならない。

北朝鮮の脅威もあり、沖縄の米軍施設は人も機材も酷使され、問題が起きやすくなっているのではないか。解決のためには、首脳同士や日米外務・防衛担当閣僚会合（2プラス2）レベルで、不退転の決意で再発防止に向けた話し合いをする必要がある。

米軍ヘリ、沖縄でまた不時着 ホテルから400m

朝日新聞デジタル 2018年1月8日 21時04分



住民が撮影した、

不時着した米軍の攻撃ヘリAH1（8日午後、沖縄県読谷村、沖縄タイムス提供）



8日午後4時45分ごろ、沖縄県読谷（よみたん）村（そん）儀間のゴミ処分場に米軍ヘリコプターが不時着した。県警によると、住民や乗員2人にけがはない。県内では6

日にもうるま市の伊計（いけい）島で米軍ヘリが不時着したばかり。相次ぐ米軍機の事故やトラブルに、県内で反発が強まるのは必至だ。

現場は、海沿いのリゾートホテル「ホテル日航アリビラ」から約400メートル離れた一般廃棄物最終処分場。県警や消防によると、ヘリに大きな損傷は見られない。周囲は畑だが、300メートルほどの所に住宅地がある。

沖縄防衛局によると、不時着したのは米軍普天間飛行場（宜野湾市）所属の攻撃ヘリAH1。乗員は県警に「飛行中に機内で警告灯が点灯し、天気も悪かった」と話し、事故を避けるための予防着陸をした、と説明したという。

県内では6日にも普天間飛行場所属の多用途ヘリUH1が不時着。8日午前に大型ヘリがすり上げ、伊計島から南西へ約10キロ離れた米海軍の基地「ホワイトビーチ」（うるま市）に運んだばかりだった。

翁長雄志（おながたけし）知事は、読谷村での不時着が起きる前の8日午後、名護市内で記者団に「（米軍機は）いろんな事故を起こして、何ら改善もされないまま県内を飛び交っている。基地を預かる沖縄県の知事として、本当に憤懣（ふんまん）やるかたない」と語った。

一方、沖縄防衛局の中嶋浩一郎局長は8日夜、記者団に、米海兵隊の全航空機の点検を行うことを米側に求めたことを明らかにした。全米軍機の飛行中止と緊急点検は12月に県が求めている。

米軍ヘリまた沖縄で不時着...ホテル近くの処分場

読売新聞 2018年01月08日 23時57分



廃棄物最終処分場の敷地内に不時着した米軍の攻撃ヘリ「AH1」（8日午後5時48分、沖縄県読谷村）＝仲宗根朝治さん撮影



よみたん

8日午後4時50分頃、沖縄県読谷村儀間にある廃棄物最終処分場の敷地内に、「米軍のヘリコプターが不時着した」と110番があった。

県警嘉手納署などによると、このヘリは米軍普天間飛行場（宜野湾市）所属の攻撃ヘリ「AH1」で、機体に損傷はなかった。約400メートル離れた場所にリゾートホテルや住宅があるが、住民やヘリの乗組員2人にけがはなかった。

同署によると、米軍側は「機体の不具合を示す警告灯が点滅したので予防着陸した」などと説明しているという。

同県内では米軍機によるトラブルが相次いでおり、今月

いけい

6日にはうるま市・伊計島の海岸に同飛行場所属の多用途ヘリ「UH1」が不時着し、8日午前に機体を別のヘリですり上げて移送したばかりだった。伊計島では昨年1月にも今回不時着したヘリと同型の「AH1」が緊急着陸している。

沖縄・読谷村の米軍ヘリ不時着 また「沖縄の空飛ぶな」県民怒りの声

毎日新聞 2018年1月9日 東京朝刊

「もう空を飛ぶな」「いつかは大事故が発生する」。沖縄県うるま市の伊計島に6日に不時着した米軍普天間飛行場のUH1ヘリコプターが撤去された8日、今度は同県読谷村に同飛行場所属のAH1ヘリが不時着した。トラブルが繰り返され、危機感を募らせる沖縄県民からは米軍への怒りや不信の声が続々と上がった。

AH1ヘリはホテル近くに不時着した。読谷村の農業、儀間恭昇さん（68）は、ヘリが通常よりも低空で飛んでいることに気付いたが、その直後にヘリの姿が見えなくなり、「落ちた、と思った」と振り返る。

読谷村職員の上地薫さん（33）は「伊計島で不時着があったばかりで、またかという感じだ。米軍は本気で改善する気があるのだろうか。いつ自分の家に落ちてくるかも分からない」と語った。

読谷村の会社員、町田宗久さん（53）はニュースを見て不時着を知り、「沖縄にとっては安全保障の問題は生活の問題。本当に米軍基地が必要だったら全国で分散して負担してほしい」と語った。

普天間飛行場の名護市辺野古への県内移設に反対する「ヘリ基地反対協議会」の安次富（あしとみ）浩共同代表（71）は、緊迫化する北朝鮮情勢を踏まえて「ホテルに落ちていたら大惨事だ。米軍は沖縄を戦場に見立てて激しい訓練をしている。トラブルが起きても米軍が調査をし、日本政府はその結果をうのみにするだけ。そんな政府では県民を守れない。もう米軍機は沖縄の空を飛ぶな」と憤った。

普天間飛行場所属の米軍機を巡っては、6日にうるま市の伊計島の砂浜にUH1ヘリが不時着し、米軍は8日午前現場から大型ヘリCH53でUH1の機体をつり上げて撤去させた。昨年にはCH53が大破炎上する事故や小学校に窓を落下させる事故を起こした。

伊計島から不時着したヘリが撤去された後で、翁長雄志（おながたけし）知事は名護市で記者団に対し「怒りを乗り越えている。いろいろな事件や事故を起こしながら何ら改善されておらず、だらしがないという感じがする。もうやめてくださいということしかない」と米軍を厳しく批判した。県は9日に防衛省と外務省の担当者を県庁に呼び、抗議する。【佐藤敬一、中村敦茂、菅野蘭】

米軍普天間飛行場所属機を巡る事故

2016年

12月13日 空中給油の訓練をしていた垂直離着陸輸送機オスプレイが、名護市沖に不時着し大破。乗員5人のうち2人が負傷

17年

1月20日 うるま市の伊計島の農道に攻撃ヘリAH1が不時着

10月11日 大型輸送ヘリCH53が機内から出火し、東村高江の米軍北部訓練場付近の民有地に不時着後、大破し炎上

12月13日 宜野湾市の市立普天間第二小学校の校庭に、CH53から窓が落下

18年

1月6日 伊計島の砂浜にUH1ヘリが不時着

8日 読谷村の廃棄物処分場にAH1が不時着

米軍ヘリ不時着 今度は読谷村で 沖縄の反発高まる

毎日新聞 2018年1月8日 21時00分(最終更新 1月9日 00時46分)



読谷村の位置

8日午後4時45分ごろ、沖縄県読谷村儀間の海岸付近に、米軍普天間飛行場（同県宜野湾市）所属の攻撃ヘリコプターAH1が不時着した。ヘリには2人が乗っていたが、乗員と周辺の住民を含めて、けが人はいない。沖縄県では

6日にもうるま市で同飛行場所属の米軍のUH1ヘリが不時着して8日に撤去したばかりで、相次ぐトラブルに沖縄の反発が強まっている。

沖縄県警や沖縄防衛局などによると、不時着現場は、一部事務組合の廃棄物処分場の敷地内。南側約350メートルにはリゾートホテルがあり、東側約400メートルには住宅地がある。機体に目立った損傷はなく、炎や煙も確認されていない。

読谷村の住民（68）は通常よりも低空を飛ぶ米軍ヘリ2機を目撃。うち1機が下降し、処分場の屋根の陰に隠れて見えなくなった。その後には不時着しているのを確認して119番した。パイロットが機体から降りてくるところも目撃した。

米軍側は当該ヘリは普天間飛行場から訓練のために飛び立ったが、警告灯が点滅し予防のために着陸したと説明。点検して、機体に問題がなければ9日朝にも離陸させると伝えてきているという。

また、在沖縄米軍トップのニコルソン沖縄地域調整官は富川盛武副知事に電話で「申し訳ない。必ず調査する」との考えを伝えてきた。県は、全米軍機の整備・点検と安全が確認されるまでの飛行中止を日米両政府に求める方針。

不時着現場を確認した読谷村の石嶺伝実村長は記者団に対し「立て続けに米軍ヘリが不時着し、極めて異常な状況が起こっている。沖縄は米軍の占領地ではないはずだ。（事故の）一番の原因は沖縄に過重に米軍基地が集中していることだ」と述べた。【中村敦茂、佐藤敬一】

沖縄でまた米軍ヘリ不時着 読谷村のホテル付近

日経新聞 2018/1/8 18:07 (2018/1/8 22:05 更新)

8日午後4時45分ごろ、沖縄県読谷村の廃棄物処分場に米軍普天間基地（同県宜野湾市）所属のAH1攻撃ヘリコプターが不時着した。県警などによると2人が乗っていたが、けが人はいないもよう。警告灯が点滅したことが原因とみられる。県によると、読谷村のホテル日航アリビラ敷地から北東に約250メートル。米軍や県警が詳しい状況を調べている。



8日、沖縄県読谷村に不時着した米軍のAH1攻撃ヘリコプター＝共同

普天間基地所属のUH1ヘリが8日午前、不時着した同県うるま市の伊計島海岸からCH53大型輸送ヘリでつり

上げて撤去されたばかりだった。同基地所属機はCH53の不時着、炎上や小学校運動場への窓落下、輸送機オスプレイの緊急着陸などトラブルが続いており、沖縄では安全性への懸念が強まっている。

沖縄県幹部は8日、不時着したAH1とUH1の両ヘリに関し、原因究明までの同型機の飛行中止と在沖縄米軍機の総点検を日本政府と米軍に求める考えを示した。富川盛武副知事は取材に「想像を絶する事態だ。言葉が見つからない」と強く抗議した。

小野寺五典防衛相は防衛省で記者団に「多すぎる。沖縄の皆さんの心配は当然だ」と述べ、米側に整備の徹底や再発防止を求める考えを表明。沖縄防衛局は普天間基地所属機の整備点検の徹底を米軍に申し入れた。

県関係者によると、在沖縄米軍トップのニコルソン沖縄地域調整官（海兵隊中將）は富川副知事に電話で「大変申し訳ない」と謝罪した。

県警などによると、米軍は事故を避けるための「予防着陸」と説明している。

伊計島には6日、主回転翼の速度超過を示す異常が表示されたUH1が不時着。8日、1機のCH53がゆっくりとつり上げて、海上を移動した。県警などによると、約12キロ南西にあるうるま市の米海軍施設ホワイトビーチに移送した。

〔共同〕

産経新聞 2018.1.8 17:43 更新

沖縄でまた米軍ヘリ不時着 読谷村のホテル近く 伊計島つり上げ撤去直後



沖縄県読谷村に不時着した米軍のAH1攻撃ヘリコプター＝8日午後6時53分

8日午後4時45分ごろ、沖縄県読谷村の廃棄物処分場に米軍普天間飛行場（同県宜野湾市）所属のAH1攻撃ヘリコプターが不時着した。県警などによるとヘリには2人が乗っていたが、けが人はいないもよう。警告灯が点滅したことが原因とみられるという。県によると、読谷村のホテル日航アリビラ敷地から北東に約250メートル。米軍や県警が詳しい状況を調べている。

普天間飛行場所属のヘリを巡っては、6日に同県うるま市の伊計島海岸にUH1ヘリが不時着し、8日午前に撤去されたばかりだった。同飛行場所属機はCH53大型輸送ヘリの不時着、炎上や小学校運動場への窓落下、輸送機オスプレイの緊急着陸などトラブルが相次いでいる。

相次ぐ不時着について富川盛武副知事は取材に「想像を

絶する事態だ」と強く抗議。小野寺五典防衛相は防衛省で記者団に「多すぎる。沖縄の皆さんの心配は当然だ」と述べた。

米軍ヘリ緊急着陸 近くにはホテル 沖縄 読谷村 NHK1月8日 21時54分



アメリカ軍機の事故やトラブルが相次ぐ沖縄県で8日、また、読谷村の廃棄物処分場の敷地にアメリカ軍のヘリコプターが緊急着陸するトラブルがありました。近くにはリゾートホテルがありますが、けが人はなく、アメリカ軍は警察に対し「機体の不具合を示す計器が点灯した」と説明しているということです。

8日午後5時前、沖縄県読谷村儀間にある廃棄物処分場の敷地に「アメリカ軍のヘリコプターが着陸した」という通報が警察にありました。

防衛省関係者によりますと、着陸した機体はAH1攻撃ヘリコプターで、アメリカ軍は警察に対し「機体の不具合を示す計器が点灯した」と説明しているということです。近くには大型のリゾートホテルもありますが、警察によりますと、宿泊客や付近の住民にけがをした人はいませんでした。また、ヘリコプターに乗っていた乗員2人にもけがはないということです。

廃棄物処分場の職員はNHKの電話取材に対し、「大きな音がしたので、見に行ったらアメリカ軍のヘリコプターが敷地内の広場に止まっていた。機体に損傷はなく、けが人はいない様子だった」と話していました。

沖縄県ではアメリカ軍機の事故やトラブルが相次いでいて、6日にもうるま市の砂浜にアメリカ軍のヘリコプターが緊急着陸したばかりです。

「きょうは現場から機体飛ばさず」

警察によりますと、アメリカ軍は「訓練中に機体後部の異常を知らせる警告灯が点滅したため着陸した。夜間になったうえ、気象条件が悪いので、きょうは着陸現場から機体を飛ばすことはない」と説明しているということです。また、警察が確認したところ、機体に目立った損傷は見られないということです。

ヘリは普天間基地所属

アメリカ軍の関係者によりますと、緊急着陸したAH1攻撃ヘリコプターは普天間基地に配備されている機体で、6日、うるま市の伊計島の砂浜に緊急着陸したUH1ヘリコプターと同じ部隊に所属しているということです。また、

去年1月に伊計島に緊急着陸したのと同じ機種だということです。

ヘリの様子は

読谷村に住む視聴者が午後5時すぎに撮影した映像では、フェンスごしの芝生の上にヘリコプター1機と、その傍らに人が数人立っているのが確認できます。

読谷村長「異常な状態 すべての基地閉鎖を」

読谷村の石嶺傳實村長は8日夜、現場を訪れたあと記者団に対し、「あってはならないことだ。危険の度合いはここ数年、増してきている。このような事態が立て続けに発生するいちばんの原因は沖縄への過重な基地負担であり、国民全員にこの現状を理解してもらいたい」と述べました。

そのうえで、「沖縄は今、異常な状態に置かれていて、すべての基地を閉鎖したほうがいい」と怒りをあらわにしました。

地元区長「憤り感じる 飛行中止を」

読谷村儀間の知花辰樹区長は「伊計島に続いて自分たちの近くでもこうした事態が起き、憤りを感じている。日頃から軍用機の飛行が多いが、最近、特に訓練が多くなっている気がしていたので、集落の上空を飛行しないよう求めていきたい」と話しています。

防衛相「ちょっと多すぎる」

小野寺防衛大臣は8日夜、防衛省で記者団に対し、「おとこの伊計島に続いての不時着ということで、アメリカ側に対し、詳細な情報の提供とともに整備・点検を徹底し、再発防止を確実に講じることを改めて申し入れるよう指示した。普天間第二小学校に窓が落下した事案を含めて事故が続いており、ちょっと多すぎる。沖縄の皆さんの心配は当然のことであり、機会を捉えて、しっかり申し入れを行っていきたい」と述べました。

沖縄防衛局長「整備と点検を申し入れ」

沖縄防衛局の中嶋浩一郎局長は8日夜、現場を訪れたあと記者団に対し、「近くには大型ホテルがあり、たくさんの住民が暮らしている場所でこのような事案が起きてしまい、申し訳なく思っている」と述べました。

そのうえで、アメリカ軍に対し、沖縄の海兵隊に所属するすべての航空機について、徹底的に整備と点検を行うよう文書で申し入れたことを明らかにしました。一方、同型機の飛行停止までは求めていないとしています。

沖縄駐留の米軍トップ「申し訳ない」

関係者によりますと、沖縄に駐留するアメリカ軍トップのニコルソン四軍調整官が8日午後7時前、富川副知事に電話し、「申し訳ない」と謝罪のことばを述べたということです。富川副知事は9日、沖縄防衛局の担当者などを県庁に呼んで抗議することになっています。

「ボン」という音がした

近くに住む住民はNHKの電話取材に対し、『ボン』という音がしたので見に行ったところ、ヘリコプターが着陸し

ていた。先日もうるま市で同様のトラブルがあったばかりで、恐怖心と怒りがこみ上げる」と話していました。

近隣住民「怒りよりあきれる」

現場近くに住む33歳の男性は「友人から米軍機が自宅近くに着陸したと聞いて、行ってみるとヘリコプターがあった。機体に損傷はなさそうで、においなどもなかった。2日前にも同じようなことがあったばかりなので、またかと思った。アメリカ軍は本気で改善しようとしているのかと疑問に思うし、怒りよりもあきれている。いつ自分の家に落ちてくるかわからない」と話していました。

現場近くで農作業をしていた60代の男性は「2機のヘリコプターが飛んできて、そのうち1機が廃棄物処分場のほうに降りていったので、見に行ったら着陸していました。『またか』という感じで、日本政府は米軍にもっと強く言ってほしいです」と話していました。

読谷村に住む70代の男性は「米軍機のトラブルが相次いでいて許せない思いだ。現場近くには自分の畑があるので、万が一、畑に落ちていたらと思うと、身震いするほど怖い。こうしたことをなくすには基地の撤去を求めていくしかない」と話していました。

産経新聞 2018.1.8 17:32 更新

米軍対応「だらしない」 不時着で翁長雄志・沖縄県知事



沖縄県の翁長雄志知事

沖縄県の翁長雄志知事は8日、同県うるま市の伊計島に米軍ヘリコプターが不時着したことに関し「いろんな事件・事故を起こしながら何ら改善されない。(米軍は)だらしないと感じる」と批判した。同県名護市で記者団に語った。

日本政府については「何の責任も取れないし、当事者能力もない」と指摘。日米両政府に対し抗議し続けるとの姿勢を示した。

安全対策、米司令官に要請へ＝小野寺防衛相、9日にもハワイ訪問

小野寺五典防衛相は8日夜、沖縄県読谷村での米軍ヘリコプターの不時着に関し、米太平洋軍のハリス司令官と速やかに会い、安全対策の徹底を要請する意向を明らかにした。小野寺氏は東京都内で記者団に対し、「調整がつけば9日にもハワイに向かいたい。飛行、運用の安全について直接伝えたい」と語った。

小野寺氏はもともと、政府が導入する陸上配備型迎撃ミサイルシステム「イージス・アショア」の試験施設視察を目的に今月のハワイ訪問を調整していた。(時事通信 2018/01/08-23:31)

小野寺防衛相、米軍に再発防止要請へ ヘリ不時着

朝日新聞デジタル相原亮 2018年1月8日 22時59分

米軍普天間飛行場(沖縄県宜野湾市)所属の攻撃ヘリAH1が同県読谷村のリゾートホテル近くの民有地に不時着した事故で、小野寺五典防衛相は8日夜、都内で記者団に対し、防衛省から米側に再発防止策を講じるよう申し入れたことを明らかにした。「飛行の安全、運用の安全などについては直接伝えたい」と述べ、自身が米軍幹部に要請する意向も示した。

防衛省の深山延暁・地方協力局長がマルティネス在日米軍司令官に申し入れた。事故の情報提供と、ヘリの整備点検など「実効性のある再発防止策」を求めた。

小野寺氏は「これだけ米軍ヘリの事故が続けば、沖縄の皆さんが大変心配するのも当然だと思う。しっかり米側に強く申し入れをしていきたい」と強調。近く米ハワイを訪問し、在日米軍が所属する米太平洋軍トップのハリス司令官と会談する考えだ。

小野寺氏は8日夜のBSフジの…

9日に南北閣僚級会談 五輪以外も議論か

軍事緊張緩和、離散家族再会

日経新聞 2018/1/8 22:17

【ソウル=鈴木壮太郎】韓国と北朝鮮は9日午前10時、軍事境界線がある板門店で南北閣僚級会談を開く。南北当局間の高官会合は2年1カ月ぶり。北朝鮮の韓国・平昌冬季五輪参加問題が主な議題だが、軍事的な緊張の緩和策なども話し合う見通しだ。

双方の首席代表は閣僚級で、代表団は南北それぞれ5人で構成する。五輪・スポーツ担当者はそれぞれ2人。首席代表を含む残り3人はいずれも南北問題の専門家だ。

韓国統一省報道官は8日、「平昌五輪への北朝鮮の参加問題とともに、南北関係の改善に向けた互いの関心事についても議論する」と語った。韓国側首席代表の趙明均(チョ・ミョンギョン)統一相は韓国メディアの取材に「離散家族問題や、軍事的な緊張を緩和する問題を議論できるよう準備する」と答えた。

「ひとまずは平昌冬季五輪・パラリンピックへの北朝鮮の参加問題に集中する」。統一省報道官は語ったが、「南北関係の改善」への並々ならぬ意欲は、南北代表団の顔ぶれからも明らかだ。

韓国側首席代表の趙氏は金大中(キム・デジュン)政権時の2000年、盧武鉉(ノ・ムヒョン)政権だった07年の2回開かれた南北首脳会談の両方に関わった専門家だ。07

年の会談で安保政策秘書官として盧氏と金正日(キム・ジョンイル)総書記との対話を克明に記録。統一省の局長として開城工業団地、金剛山観光など南北共同事業を推進した。

北朝鮮側首席代表である祖国平和統一委員会の李善権(リ・ソングォン)委員長は軍人出身で、対南強硬派で知られる。会談では米韓軍事演習の中断を求めるとの観測がある。

同席する田鍾秀(チョン・ジョンス)副委員長、ファン・チュンソン部長は15年12月の南北次官級会談でそれぞれ首席代表、経済分野の代表を務めた対南政策の専門家だ。田氏は00年の南北首脳会談にも関わり、ファン氏は開城工業団地、金剛山観光事業との関わりが深い。

南北会談あす10時から 北朝鮮の五輪参加是非を協議

NHK1月8日 12時41分

韓国統一省は、およそ2年ぶりとなる北朝鮮の当局者との会談を9日の午前10時から開始すると発表し、ピョンチャンオリンピックへの参加をめぐる協議をきっかけに、南北間の関係改善に向けた対話も加速させたいという考えを示しました。

韓国と北朝鮮は9日、南北の軍事境界線にあるパンムンジヨム(板門店)の韓国側の施設「平和の家」でおよそ2年ぶりとなる当局者による会談を行い、韓国からは、チョ・ミョンギョン(趙明均)統一相、北朝鮮からは、韓国との窓口機関である祖国平和統一委員会のリ・ソングォン委員長が出席します。

これを前に、韓国統一省のペク・テヒョン(白泰鉉)報道官は、8日の記者会見で、会談は午前10時から開始すると発表し、「韓国政府は、ピョンチャンオリンピックとパラリンピックへの北の参加についての議論を中心に準備をしている」と述べ、まずは、北朝鮮の大会参加に向けた調整を最優先すると改めて説明しました。そのうえで、「南北関係改善への互いの関心事項、特に去年7月の韓国の提案についても議論されると予想される」と述べました。

ムン・ジェイン政権は去年7月、北朝鮮に対して軍事的緊張の緩和に向けた軍の当局者による会談と、離散家族の再会をめぐる赤十字の実務者による会談を提案していましたが、これまで北朝鮮から回答はなく、これらの会談の実施に向けても意見を交わし、南北間の関係改善に向けた対話も加速させたいという考えを示しました。

北朝鮮対応で連携確認＝日韓「6カ国」代表

【ソウル時事】北朝鮮核問題に関する6カ国協議の首席代表を務める外務省の金杉憲治アジア大洋州局長は8日、ソウルの韓国外務省を訪れ、韓国首席代表の李度勲平和交渉本部長と会談した。板門店で9日に開かれる南北高官級会談を前に、北朝鮮への対応で緊密に連携していくことを

確認した。

韓国は南北高官級会談の議題について「北朝鮮の平昌冬季五輪参加問題を最優先とする」(大統領府高官)方針を示しているが、日米には北朝鮮への圧力が弱まる恐れがあるとの懸念もある。金杉氏は会談後、記者団に対し、「北朝鮮が南北対話を求める動きは、圧力を含む、われわれの働き掛けの成果だ」と指摘。「(核・ミサイル開発を続ける)北朝鮮に政策変更を求めるため、引き続き圧力を強化していくことで一致し、その過程で、日韓、日韓米の連携が重要だ」という認識を確認した」と説明した。(時事通信 2018/01/09-00:52)

日韓高官 南北対話前に北朝鮮問題を協議

NHK1月8日 18時31分



9日開かれる韓国と北朝鮮による閣僚級会談を前にソウルを訪問している外務省の金杉アジア大洋州局長は、韓国外務省の高官と北朝鮮への対応を協議し、閣僚級会談などの動きを核やミサイル問題の解決につなげるため、外交努力を強めていくことで一致しました。

韓国と北朝鮮は9日、軍事境界線にあるパンムンジョム(板門店)でおよそ2年ぶりとなる当局間の会談を開き、北朝鮮のピョンチャンオリンピックへの参加などについて話し合います。

これを前に、ソウルを訪問している外務省の金杉アジア大洋州局長は8日午前、韓国外務省のイ・ドフン(李度勲)朝鮮半島平和交渉本部長と北朝鮮への対応を協議しました。韓国外務省によりますと、日韓双方は南北の閣僚級会談などの動きを核やミサイル問題の平和的な解決につなげるため外交努力を強めていくことで一致したほか、北朝鮮を意味のある対話の場に引き出すための方法について意見を交わしたということです。

一方、金杉局長は9日の閣僚級会談で南北が歩み寄るか注目される中でも、北朝鮮に核・ミサイル開発を放棄させるためには国連安全保障理事会による制裁決議の完全な履行など、日米と歩調を合わせて圧力を最大限まで高めていくことが重要だと呼びかけたと見られます。

外務省局長 韓国局長と慰安婦問題などを協議

NHK1月8日 21時06分



外務省の金杉アジア大洋州局長は、8日午後、ソウルで韓国外務省の局長と慰安婦問題をめぐる日韓合意などについて協議し、先にムン・ジェイン(文在寅)大統領が合意は受け入れられないなどと述べたことについて、日本側として認められないとする立場を改めて伝えました。

韓国ソウルを訪れている外務省の金杉アジア大洋州局長は、8日午後、韓国外務省のキム・ヨンギル(金容吉)北東アジア局長と慰安婦問題をめぐる日韓合意について協議しました。

この中で、金杉局長は、先にムン・ジェイン大統領が「合意で慰安婦問題が解決したということは受け入れられない」と述べたことについて、合意の変更は認められないとする日本側の立場を改めて伝えました。

金杉局長は記者団に対し、「日韓合意で最終的かつ不可逆的な解決を確認しているので、韓国側には合意の着実な実施を求めた」と述べました。

また、ムン政権が9日に日韓合意についての新たな対応方針を発表すると韓国の公共放送KBSなどが伝えたことについて、金杉局長は「きょうの協議では全く言及がなく、報道が先行していることについて強く苦言を呈した」と述べ、不快感を示しました。

日本に「責任ある措置」要求か=9日に慰安婦合意対応を発表—韓国政府

【ソウル時事】韓国の康京和外相は9日午後2時(日本時間同)、慰安婦問題をめぐる日韓政府間合意への対応方針を発表する。韓国外務省が8日、明らかにした。これに関し、聯合ニュースは、韓国政府が慰安婦合意の再交渉や破棄には踏み込まず、日本政府に「責任ある措置」を取るよう求めると伝えた。

外務省の金杉憲治アジア大洋州局長は8日、韓国外務省の金容吉東北アジア局長と会談、「日韓合意は、問題の最終的かつ不可逆的な解決を確認している」と指摘し、着実に実施するよう申し入れた。金杉氏は会談後、記者団に対し、「(韓国側から対応方針発表に関する)言及は全くなかった」と述べた上で、「(対応方針の発表に関係なく)合意の着実な実施を引き続き求めていきたい」と強調した。



8日、ソウルで、日韓局長級会談を終え、記者団の質問に答える外務省の金杉憲治アジア大洋州局長

韓国外務省の作業部会は昨年12月27日、日韓合意について「被害者の意見を集約しなかった」などと批判する検証結果を発表。文在寅大統領は翌28日、「この合意で問題は解決できない」と表明、対応を関係部署に指示し、再交渉や破棄を表明するかが焦点となっていた。

文大統領は今日4日、元慰安婦らを招き、直接謝罪。一方で、「前政権が公式的に合意したことも事実なので、両国関係の中で解決していかなければならず、容易でない側面もある」と述べていた。(時事通信 2018/01/08-20:30)

日韓合意破棄は回避見通し 韓国、首相の慰問求める案も
朝日新聞デジタルソウル=牧野愛博 2018年1月8日 19時53分

韓国の康京和（カンギョンファ）外相は9日午後2時から、慰安婦問題の最終的で不可逆的な解決をうたった2015年の日韓合意をどう扱うかについて、一部を説明する。同国外交省が8日発表した。文在寅（ムンジェイン）大統領が未来志向の日韓関係を強調していることに配慮。合意の破棄や再交渉は求めない見通しだ。

日韓関係筋によれば、合意を維持したうえで、「日本政府は責任を痛感している」などと記す合意の精神に基づいた履行を日本側に要請する可能性が高い。安倍晋三首相らに対し、元慰安婦らを慰労するための訪問や手紙の送付など、「誠実な履行」を求める形で事実上の追加措置を求める案が浮上しているという。

外交省の措置は、文大統領が10日に年頭の記者会見を行う前に、懸案を整理しておく狙いがある。

日本外務省の金杉憲治アジア大洋州局長は8日、ソウルで韓国外交省の金容吉（キムヨンギル）東北アジア局長と会談したが、韓国政府の新たな方針については聞かされていないとした。金杉氏は「合意の着実な実施を求める」と改めて記者団に強調した。

日韓合意を巡っては、韓国外相直属の検証チームが昨年末に「合意は不均衡」とする検証結果を発表。文大統領は「この合意では問題は解決されない」との声明を出し、今日4日に元慰安婦らに謝罪した。日本側は「合意の維持以

外、受け入れられない」とする立場を韓国側に伝えている。
(ソウル=牧野愛博)

産経新聞 2018.1.8 11:32 更新

【話の肖像画】公明党元代表・神崎武法（1）後に本当の選挙をやるとは



公明党元代表・神崎武法氏（佐藤徳昭撮影）

〈衆参両院で改憲勢力が憲法改正の発議に必要な3分の2超を占め、自民党と連立を組む公明党に注目が集まっている〉

私は国会で合意形成ができるかどうか焦点になると思います。党代表を辞めた直後の記者会見でも、「自公の将来的な課題は憲法改正になる」と指摘しました。憲法改正は国民の理解を得て進めるべきですから、与党も野党も含めて、しっかり合意をまとめ上げることに全力を尽くしてほしいんです。

〈水と油のように思われた自公両党も風雪に耐えてきた。礎を築いた元代表は小中高で生徒会長になるなど、周囲から自然と一目置かれる存在〉

当時としては背が高く、体格が良かったからでしょうか。中学では転校して1年後に生徒会長に選ばれました。まさか後に自分が本当の選挙をやるとは思いませんでした。

〈家は貧しかった〉

父親は軍属でトラックの修理などをする技術者でした。復員してから千葉の引き揚げ者住宅に住みました。家族が12畳1間で暮らした時期もあって、子供のころは近所の社宅で庭先からプロレス中継を観せてもらうのが楽しみでした。家計を助けたいと同級生の家に窓ガラスを拭いたり、年齢を偽って中学からゴルフ場でキャディーをしたりしました。

〈千葉高では意外な理由で演劇部に所属〉

好きな女の子が演劇部に入ったから、ふらふらと入っちゃった。白ユリのような女性でしたけれども仲間と一緒にしゃべりする程度で…。勉強は数学が得意だったんですが、ちょうど60年安保闘争があって、やっぱり指導者がしっかりしないといけないんじゃないか、と。法学部のほうが選択肢が増えると考えて、文系に方針を変えたんです。

〈東大3年生で難関の司法試験に挑戦する〉

東大では当時、2年生の途中までは教養科目が中心で法律に関する科目はほとんどありませんでした。合格した先輩に勉強法を聞くと、「それぞれの法律についての基本書を6～8回も読めば大体頭に入るから合格できる」と言う。言われた通り一式買い求め、猛烈に6回読みました。落ちたらもう受けまいと思っていたんだけど、たまたま受かった。当時は創価学会員の東大生で3年生で合格した人はいなかったの、東大新聞が取材に来ました。「創価学生」が合格したが、彼らはいったい何を考えているのか—というような記事になっていましたね。

学会に入ったのは中学2年のときでした。母親が最初に入り、家庭の雰囲気明るく変わってきたので父も私も入ったんです。司法試験に合格し、大学でやるのがなくなったと思ったら、学会の池田大作会長（当時）から「仏教哲学大辞典」の編纂（へんさん）委員になるよう任命されましたね。今度は学会本部で仏教哲学の猛烈な勉強を始めました。大学生活は3年生でほぼ終わりでした。（聞き手 佐々木美恵）

◇

【プロフィール】

昭和18年7月15日、中国・天津生まれ。東大法学部卒業後、昭和43年検事任官。横浜、福岡、東京、那覇で地検検事、法務省の官房秘書課、広報連絡室長、内閣審議官を歴任した後、57年から弁護士に。58年の衆院選で旧公明党から初当選し、政審会長、国対委員長を歴任した。平成5年、8党会派の連立によって誕生した細川護熙内閣で郵政相。6年に新進党の結成に加わり、10年の同党解党に伴い、過渡的に結成された新党平和の代表を経て、11年から18年まで公明党代表。22年に政界を引退したが、現在も党常任顧問を務めている。

被爆体験 海外で証言へ 横浜港を出発

NHK1月8日 16時22分



ノーベル平和賞を受賞した I CAN＝核兵器廃絶国際キャンペーンの国際運営団体である NGO「ピースボート」は、受賞後初めてとなる海外での被爆体験の証言活動を行うことになり、8日被爆者らが横浜港から出発しました。東京の NGO「ピースボート」は、去年ノーベル平和賞を受賞した I CAN の中核をなす国際運営団体で、被爆者が船に乗って各国を訪れ被爆体験を証言する活動を行ってき

ました。

ノーベル平和賞の受賞後初となる証言活動がオーストラリアで行われることになり、8日は横浜港で出発を前に広島や長崎の被爆者らが会見し、核廃絶を訴え続ける意義を強調しました。

最高齢の三宅信雄さん（88）は「核廃絶には時間がかかるが I CAN のように若い人たちと取り組めることは非常に意義がある」と話し、1歳で被爆した杉野信子さん（73）は「少しでも役立てるならと参加した。受賞で高まった核廃絶への機運をしばませないよう頑張りたい」と意気込みを語りました。

I CAN の国際運営委員で、「ピースボート」の川崎哲共同代表は「受賞をお祭りごとにして終わらせず、核兵器禁止条約の発効に向けさらに力を入れていきたい」と述べました。参加者は、オーストラリアの各都市で被爆体験を証言し、2か月後に横浜港に帰港する予定です。

参加の被爆者「核廃絶の思いつなぎたい」

今回の取り組みに参加する被爆者の1人、東京 世田谷区の杉野信子さん（73）です。1歳半のときに広島で被爆した杉野さんは、爆心地からおよそ1.3キロの自宅にいて、母親と倒壊した家屋の下敷きになりながら生き延びたと母親から伝えられました。

一方、爆心地付近にいたとみられる当時13歳の兄は遺体さえも見つからず、8歳の姉は大やけどを負い、原爆投下から20日後に亡くなったということです。杉野さん自身も、後遺症におびえながら生きてきたといい、40歳でがんを患いました。

自身は、直接の体験の記憶がないため、自身より年配の被爆者の証言活動を手伝ってきましたが、高齢化に伴い活動が難しくなる人が増えてきたことから、6年前から徐々に「ピースボート」の活動に参加し、自身の経験を語るようになったといいます。

今回、I CAN のノーベル平和賞受賞後初めてとなる活動に参加することになり、前日まで証言する内容を整理したり資料を見直したりして準備を重ねてきました。

杉野さんは証言を引き受けた理由について、「これまで多くの先輩たちが証言を続けてきたことでノーベル平和賞の受賞につながったと思います。その先輩たちが亡くなっていく中、被爆当時、1歳だった私の証言でも世界の人に届けていく意味があると考えました」と話しました。

そして、「平和賞の受賞を喜ぶだけでなく新たな力にして、被爆者が生きているうちに、本当に世界から核兵器が無くなってほしい。そのために自分のできることを頑張って若い人に核廃絶の思いをつないでいきたい」と語っていました。